

民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

みどころ

世界大会高校生集会

新聞は最新の歴史文献

「目的」と基本的性格を形づくった歴史と理論

6、7面

3面

8~11面

▶ ホームページ www.dylj.or.jp ▶ Eメール minsins@dylj.or.jp

今こそ核兵器のない世界へ

▶「青年のひろば」には全国から多くの青年が参加。被爆体験と海外の青年のスピーチを聞き、学んで交流した(5日、広島)



原水爆禁止世界大会2024

8月4日〜6日、広島で開催された原水爆禁止2024世界大会。6日の集会には3750人が参加し、1250人が視聴しました。広島と長崎に原子爆弾が投下されたから79年目を迎える今年の世界大会では、核破局の「瀬戸際」にある一方で、核兵器禁止条約を力に核廃絶へと転換する希望についても、力強く語られました。(文中の青年は一部仮名、栗山さつき記者)

希望の光は 核兵器禁止条約

原水爆禁止2024世界大会の「国際会議宣言」は、「私たちは今、核破局なく、未来の世界の存続に『瀬戸際』ともいえる状況にある」と警鐘を鳴らしました。ウクライナを侵略するロシアが核兵器による威嚇をくり返し、米国の主導する北大西洋条約機構(NATO)からは「核抑止力」の拡大・強化を求める声も公然と上がっています。ガザ攻撃を続けるイスラエルも核使用をほめめかし、東アジアも核保有国から緊張と対立が続いています。

一方、国際宣言では、核兵器禁止条約と、核廃絶を願う国際社会の根強い世論と運動が大きな力を持っていることも示されています。条約の署名は93カ国、批准は70カ国へと広がっています。同時に「宣言」は、「希望の光」は核兵器禁止条約と述べました。国連の中満泉軍縮担当上級代表は、ヒデオメッセ

「核兵器禁止条約」は、核兵器禁止条約と、核廃絶を願う国際社会の根強い世論と運動が大きな力を持っていることも示されています。条約の署名は93カ国、批准は70カ国へと広がっています。同時に「宣言」は、「希望の光」は核兵器禁止条約と述べました。国連の中満泉軍縮担当上級代表は、ヒデオメッセ



▲世界大会ヒロシマデー集会フイナーレのようす(6日、広島)

と市民の運動によって、大きく変化していることに触れた上で、日本共産党が国内外で進める野党外交を紹介。「憲法9条を生かした平和外交で、戦争のない東アジアをつくる」「この道こそ、『核抑止』論の口実を失わせ、核兵器のない世界への現実的な歩み」とうたった。

被爆者である日本原水爆被害者団体協議会代表委員の田中照巳さんは、13歳のときに長崎で被爆し、5人の親族を失った当時の経験を語りました。長年運動に関わった田中さんは、「今日の国際情勢は核戦争の最大の危機を迎えている」と述べました。「核兵器被害体験国で、平和憲法を持つ日本の真価を発揮するべきだ」と述べ、米軍に依存し、大軍拡を行うことをやめ、ただちに核兵器禁止条約に参加することを求めました。会場は大きな拍手で応えました。

核なき世界へ 被爆者と共に

核兵器のない世界の実現へ、日本政府の態度が問われています。7月28日、日米両政府は、関係級合で初めて「拡大抑止」について議論しました。米国の核抑止を日米一体で強化するといったものであり、いざとなれば「核兵器を使う」という威嚇です。岸田文雄首相は、6日に広島で行われた平和式典では、「核兵器禁止条約への参加を断念すべき」と強調し、核兵器禁止条約に参加させよう」との決意が語られました。(2面につづく)

核兵器のない世界の実現へ、日本政府の態度が問われています。7月28日、日米両政府は、関係級合で初めて「拡大抑止」について議論しました。米国の核抑止を日米一体で強化するといったものであり、いざとなれば「核兵器を使う」という威嚇です。岸田文雄首相は、6日に広島で行われた平和式典では、「核兵器禁止条約への参加を断念すべき」と強調し、核兵器禁止条約に参加させよう」との決意が語られました。(2面につづく)